

明るく 仲よく たくましく ～「心のふるさと」となる あ・な・た を大切にする学校～
日仏文化学院パリ日本人学校 平成27年度 学校だより 第5号

L'arc-en-ciel entre la France et le Japon



平成27年7月24日（金）発行 [文責：河部]

小学部体験学習（5・6年生）

6月30日（火）～7月3日（金）、小学部5・6年生の体験学習に同行しました。本年度は、西海岸に浮かぶフランスでコルシカ島に次いで2番目に大きい島、オレロン島で行いました。島といっても、これまたフランスでは最長と言われている橋で結ばれていました。主な活動は、カタマランと呼ばれるヨットとサイクリング、そしてこれはフランス本土になりますが、牡蠣養殖場の見学でした。体験学習の間、学校周辺は大変な暑さだったようですが、西海岸はむしろ肌寒い時間帯が多かったほどでした。カタマランについては、操作の仕方を私も一緒に聞きましたが、とても一度に理解できるものではありませんでした。でも、子どもたちは本当に大したもので、2～3人で協力しながら、体で覚えていったという感じがしました。中には大波に揺られて“船酔い”状態になった子どももいましたが、くじけることなく翌日には再度挑戦していました。また、サイクリングはただ自転車に乗るだけというイメージだったのですが、子どもたちは意外と、と言っては失礼ですが、本当に楽しそうにペダルをこいでいたように感じました。おそらく、パリ周辺では簡単に自転車に乗ることができる環境にないということがあるのでしょうか。今回の体験学習を通して、特に6年生の意識の高さを感じました。運動会の取組においても感じましたが、小学部の最高学年としての意識を、様々な行事において高めつつあることを大変うれしく思います。運動会では中学部3年生からいろいろなことを学び、今回は5年生に伝えることができたのではないのでしょうか。そうやって一生懸命取り組んだことが、3日目夜のダンスパーティーでの本当に楽しそうな様子につながったのだと思います。普段とは異なる子どもたちの表情を見ることができ、気持ちのよい時間を過ごすことができました。



山下農園への社会見学（小3年生）

7月8日（水）、小学部3年生が、社会見学で山下農園さんを訪問させていただきました。私自身も初めての訪問でしたが、大変貴重な体験をさせていただくことができましたように思います。まずはじめに、子どもたちからの質問と関連させながら、山下さんの野菜作りに対する“思い”を聞かせていただきました。当初は一年のうち5ヶ月くらいしか野菜を収穫できる期間がなかったそうですが、今では一年中、何らかの野菜が収穫できる状態になってきたと話されました。その種類は、日本で収穫されるものを中心に約50種にも上るとのことでした。中には、広いヨーロッパの中で山下さんただ一人だけが種から栽培することを許されているという野菜もあり、大変驚きました。お話の中で印象に残ったこととして、次のようなものがあります。「野菜を食べておいしかったと言ってくくださる方がいますが、それは野菜自身が幸せに育っているからで、そのことによって食事をした人だけではなく、私自身も幸せな気持ちになることができます。」「野菜作りをする人たちはよく土づくりが大事だと言いますが、地球の誕生から長い年月をかけてできたそれぞれの土地の土を簡単に変えることはできません。私はここの畑の土をいかに好きにな



り、そして大切にすることということを心がけています。ですから、収穫の後の肥料は次の収穫のためではなく、土へのお礼の気持ちとして少量を与えています。」一流の方の言葉ですので、大変重みを感じました。なお、当日は、このような貴重なお話だけにとどまらず、採れたてのニンジンや“ネギの花”の試食、さらにはジャガイモや玉ねぎの収穫（玉ねぎは、お土産としていただきました！）も体験させていただきました。子どもたちにとっても私自身にとっても、貴重な時間を過ごさせていただくことができました。本当にありがとうございました。

1学期も大変お世話になりました

本日をもって、1学期が終了しました。今月は、小学部においては授業参観と学級懇談会、中学部では保護者面談があり、すべての保護者の皆様に学校へおいでいただくこととなりました。お忙しいなかご都合をつけていただき、誠にありがとうございました。また、児童・生徒に関することでは、10日間にわたる体験入学生の受け入れがありました。今回は、すべての学年に入学希望者がありましたが、最終日には、お互いに別れを惜しむ姿がありました。中学部のお別れ会の様子を見ましたが、体験入学生だけでなく、本校の生徒も「異なる環境で学校生活を送っている体験入学生との交流を通して、自分たち自身の視野を広げることにつながった。」という趣旨の話をしていました。確かに、体験入学生だけでなく、本校の児童・生徒にとっても貴重な体験だったように感じました。

なお、保護者の皆様には、親師会役員の皆様による「パリ日本人学校まつり」へ向けての取組、図書ボランティアの皆様による読み聞かせを中心とした子どもたちの読書環境の整備、そしてバス役員の皆様による毎日のスクールバスの安全な運行のための連絡・調整と、本当にさまざまな立場において献身的にご協力いただきましたことに、改めまして心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。2学期以降につきましても、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、本日をもって本校から転出していく児童・生徒が20名います。たくさんの保護者の皆様から、「パリ日で有意義な学校生活を送ることができました。」とお声かけいただきました。至らない点も多々あったことと思いますが、9月からは新たな児童・生徒も編入学してきます。私どもとしましては、新たな気持ちで取り組んでいかなければならないと感じていますし、転出児童・生徒の今後の活躍を心から祈りたいと思います。引き続き在籍する児童・生徒が一回りも二回りも大きくなって、9月に再会できることを楽しみにしています。

9月の行事予定表

1 (火)	始業式（下校時刻は普段どおりです。）	16 (水)	社会見学（小3：ロダン美術館）
2 (水)	実力テスト（中）	17 (木)	生徒会選挙（中）
3 (木)	一斉下校指導	18 (金)	
4 (金)	遠足（小：ベルサイユ庭園）学部親睦会（中）	19 (土)	
5 (土)		20 (日)	
6 (日)		21 (月)	
7 (月)	学部別朝会	22 (火)	読聞かせ（図書ボ）クラブ（小）卒論発表会（中）
8 (火)	委員会（小）	23 (水)	
9 (水)	読み聞かせ（図書ボランティア）	24 (木)	
10 (木)		25 (金)	第2回進路説明会（中3）
11 (金)	遠足予備日（小）	26 (土)	
12 (土)		27 (日)	駿台テスト（中）
13 (日)		28 (月)	
14 (月)		29 (火)	
15 (火)	クラブ（小）	30 (水)	中間テスト（中）